

会社名 ヤマハ発動機(株)
担当部署 ロボティクス事業部UMS統括部
連絡先 053-525-7309

技術(機械)名:精密農業サービス

概要

ドローン等を使った圃場センシング(作物の育成状況や病害虫の有無、水温や水量などの圃場状況)を数日~数週間間隔で実施し、その結果に応じて、一斉防除やスポット散布、追肥などを無人ヘリを用いて実施する一貫サービスの提供を行います。

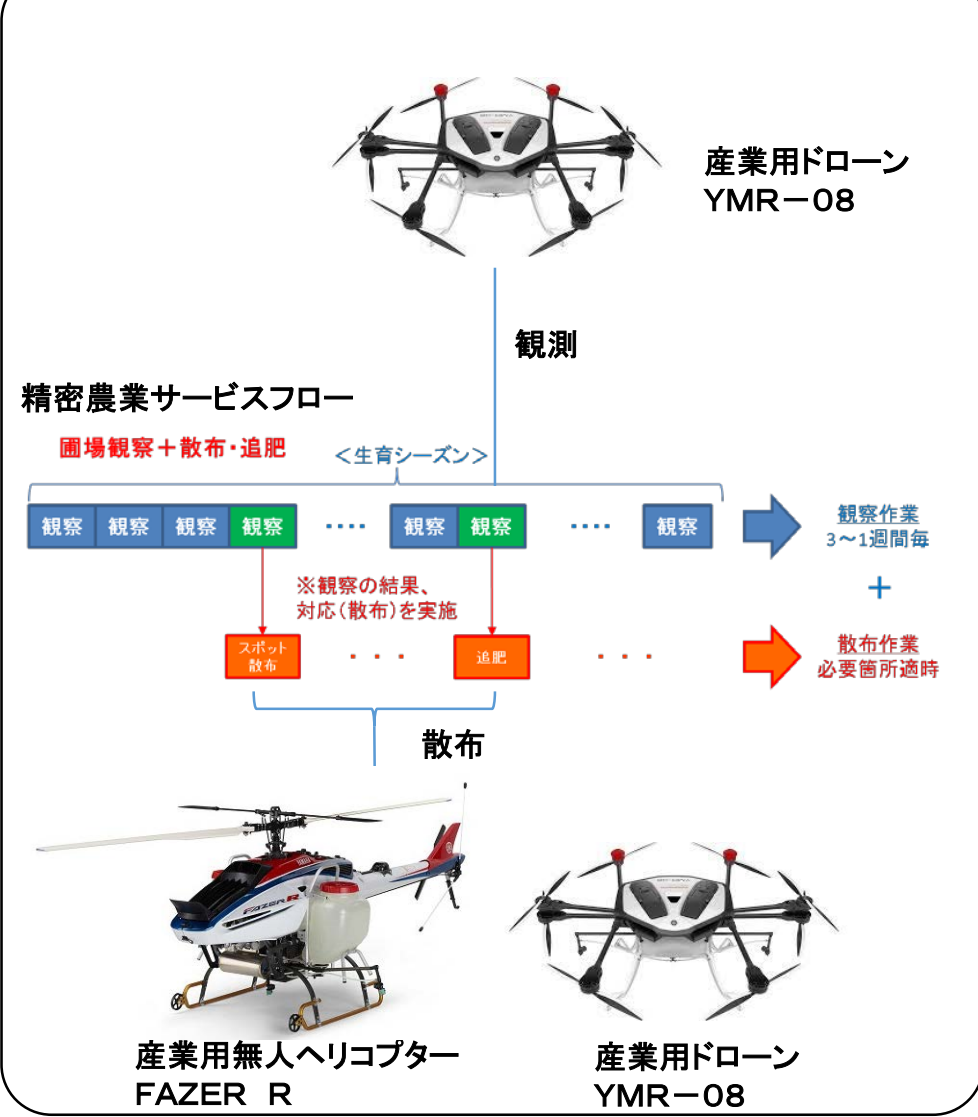
対象作物 : 水稻
(薬剤登録やセンシングスキルが進めば他作物にも展開可能)

対象作業 : 圃場センシング、防除(対 病害虫、雑草)、追肥

効果

- ・**収穫量のアップ、生産コストの削減**
主に生育状況把握~追肥のサービスにおいては、収穫量のアップが期待でき、元肥の量を予め少なくし最適な量の追肥を行うことで、肥料代金の節約が可能になります。
- ・**農家の方の作業時間削減 (効率的な時間利用の促進)**
圃場の状況チェックを本サービスで肩代わりできる為、農家の方は頻りに圃場の確認を行わなくて良くなり、これにより作業時間を削減できることと、この時間を他作業へ振り分けることで効率的な時間の利用が可能になります。

写真、図表等



精密農業サービス構成

水稲作業における基肥の段階での土壌診断から始まり、防除・追肥段階での数日～数週間間隔の観測をサービスとして一括して大規模に行うことで、作業提供側の作業効率を上げると同時に、効率的かつ適期での防除や追肥も提供ができるようになります。サービスを受ける農家の方においては、圃場の見回りや防除・追肥に費やす時間を節約できる上に、適時の散布や追肥にて生産コストの低減も実現することが可能になります。また、将来的には診断や状況判断部分にAI技術を取り入れることで、診断部分の効率化や低コスト化を目指します。

